

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	原子力災害復興対策補助（復興関連事業）	担当部局庁	研究振興局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	研究振興戦略官付	研究振興戦略官 岡村 直子				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅷ-1 原子力安全対策、核物質の防護及び環境放射能の把握					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人放射線医学総合研究所法第十四条	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「東日本大震災からの復興基本方針」に基づき、福島県の復興に資する事業として、全国レベルの三次被ばく医療機関である(独)放射線医学総合研究所において、緊急被ばく医療体制の強化等を実施する。 ※国の緊急被ばく医療体制は、防災基本計画等に基づき、一般の救急診療などの初期診療を行う初期被ばく医療機関、線量評価や除染、および専門的な医療対応を行う二次被ばく医療機関、高度専門的な除染、線量評価および診療を行う三次被ばく医療機関から構成される。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	万が一多数の患者が発生した場合に、全国レベルの三次被ばく医療機関である放医研において、より効率的な患者受け入れが可能となるよう、施設の改修と機器の拡充等を行う。 東電福島第一原子力発電所事故の復旧作業員等を対象として、作業中に受けた被ばく線量やその後の健康状況等の関連解析・評価体制を整備し、復旧作業員等の中長期間にわたる健康管理に役立てる。 福島県等において講演会・研修会や対話セミナー等のリスクコミュニケーションを実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算			—	—	—	
		繰越し等			273	—		
		計			△15	15		
	執行額				258	15	—	
	執行率(%)				100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、緊急被ばく設備の強化や、復旧作業員等を対象として、作業中に受けた被ばく線量やその後の健康状況等の関連解析・評価体制を整備し、復旧作業員等の中長期間にわたる健康管理に資すること等を成果目標とする。		成果実績	件	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	緊急被ばく医療体制の強化等に必要機器導入・設備整備等の件数		活動実績 (当初見込み)	件	—	—	3	—
単位当たりコスト		緊急被ばく医療設備の強化 89百万円 復旧作業員等の被ばくと健康の関連解析・評価体制の整備 128百万円 福島県民等とのリスクコミュニケーションに係る経費 56百万円	算出根拠	それぞれの事業にかかる経費による。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	原子力災害対策設備整備費等補助金	—	—					
	計	—	—					

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		本事業は、「東日本大震災からの復興の基本方針」に即した事業であり、福島県の復興に資する事業として優先度が高く、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		本事業は、指定公共機関が原子力災害対策を実施するものであり、放射線と人々の健康に関わる総合的な研究開発に取り組む国内唯一の機関である放射線医学総合研究所が既存の設備や知見も活用して効率的に実施した。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		放射線医学総合研究所が既存の設備や知見も活用して効果的に実施しており、緊急被ばく医療体制の整備等を着実に実施した。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
		※類似事業名とその所管部局・府省名		
点検結果	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
		○本事業は、23年度限りの事業ではあるが、一部24年度に繰り越している部分について、福島の復興に資する事業であることから、早急に実施することが必要である。		
予算監視・効率化チームの所見				
		本事業は、緊急被ばく医療体制の強化等を図るために、平成23年度第3次補正予算に計上された事業である。なお、本事業については、予算の一部を平成24年度に繰り越しているが、当該予算が東日本大震災からの復旧・復興のための経費であることを鑑み、引き続き早期執行に努めるべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
	-	繰越額については、引き続き早期執行に努める。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー		-	平成23年行政事業レビュー	復興-0034

文部科学省
258百万円

指定公共機関である放射線医学総合研究所が緊急被ばく医療体制の強化等を実施するために必要な経費を補助。

〔交付〕

A. 放射線医学総合研究所
258百万円

【B】緊急被ばく医療設備の強化等
74百万円

事業概要
万が一多数の患者が発生した場合に、全国レベルの三次被ばく医療機関である放医研において、より効率的な患者受け入れが可能となるよう機器の拡充等を実施。

【C】復旧作業員等の被ばくと健康の関連解析・評価体制の整備
128百万円

事業概要
東京電力福島第一原子力発電所事故の復旧作業員等を対象として、作業中に受けた被ばく線量やその後の健康状況等の関連解析・評価体制を整備し、復旧作業員等の中長期間にわたる健康管理に役立てる。

【D】福島県民等とのリスクコミュニケーション
56百万円

事業概要
福島県等において住民等を対象とした講演会・研修会や対話セミナー等のリスクコミュニケーションを実施。

【B】緊急被ばく医療設備の強化等

74百万円

一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	随意契約
【B-1】 ・マイクロ波試料前処理装置 ・(株)池田理化 ・14 百万円	【B-2】 ・低レベル汚染物測定用γ線測定装置の購入 ・キャンベラジャパン(株) ・11 百万円	【B-3】 ・肺モニタ用計測システムの購入 セイコー・イージーアンドジー(株) ・6 百万円	【B-4】 ・高エネルギーβ線用体表面汚染モニターの購入 ・仁木工芸(株) ・6 百万円	【B-5】 ・マイクロ波高温灰化装置2式の購入 ・(株)池田理化 ・4 百万円	【B-6】 ・汚染管理用γ線測定装置の購入 ・キャンベラジャパン(株) ・4 百万円	【B-7】 ・バイオアッセイ器具の購入 ・(株)フルヤ金属 ・3 百万円	【B-8】 ・低倍率蛍光顕微鏡及び顕微鏡用デジタルカメラの購入 ・(株)池田理化 ・3 百万円	【B-9】 ・トリアージ室用パーティションの購入及び設置 ・(株)マสด ・2 百万円	【B-10】 ・診察台の購入 ・(株)MMコーポレーション ・1 百万円
事業概要 原子炉等の事故によるアクチニド汚染患者が発生した場合に、患者から採取したアクチニド汚染生体試料を用いた汚染・被ばく評価に使用する前処理(特に便等の酸分解に用いる)に必要な装置を購入する。	事業概要 被ばく医療患者の受入時及び被ばく医療研究において、試料から放出されるγ線エネルギーごとに分析し、放射性物質の種類と量を測定するための装置を購入する。	事業概要 原子炉事故等によってPuを吸入した可能性のある被ばく患者の受入の際に、肺に付着したPuを体外から評価することが可能な肺モニタのうち、より高精度にPuを計測するための計測システムを購入する。	事業概要 汚染事故発生時に迅速に救護所、避難所にて傷病者の体表面汚染を計測し、トリアージをスムーズに行うための可搬型体表面汚染モニター(γ線環境下で高エネルギーβ線に対して感度がある)を購入する。	事業概要 原子炉等の事故によるアクチニド汚染患者が発生した場合に、患者から採取したアクチニド汚染生体試料を用いた汚染・被ばく評価に使用する前処理(灰化)に必要な装置を購入する。	事業概要 緊急被ばく医療において、患者からの生体試料等を測定してα線及びβ線放出核種による内部被ばくの有無の確認を行う測定装置を購入する。	事業概要 被ばく医療患者の受入及び被ばく医療研究において、アクチニドに汚染した組織及び生体試料を分析するために用いるバイオアッセイ用器具を購入する。	事業概要 被ばく医療患者の受入及び被ばく医療研究において、アクチニドに汚染した生体試料中のアクチニド結晶の沈着を確認するための低倍率蛍光顕微鏡及び顕微鏡用デジタルカメラを購入する。	事業概要 汚染事故発生時に迅速に救護所、避難所にて傷病者の体表面汚染を測定し、トリアージをスムーズに行うためのトリアージ室の運用性を向上させるために、パーティションを購入し、設置する。	事業概要 被ばく医療患者の受入の際に使用する診察台を購入する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

【C】復旧作業員等の被ばくと健康の関連解析・評価体制の整備

128百万円

一般競争	一般競争	随意契約	随意契約	随意契約	随意契約	随意契約	随意契約	随意契約	随意契約
【C-1】 ・復旧作業員などのフォローアップシステムの整備 ・ネットワンステムズ(株) ・81 百万円	【C-2】 ・異なるデータベースを統合した情報検索・抽出装置 ・日本コムシス(株) ・4 百万円	【C-3】 ・検体保存用機器(超低温槽一式の購入) ・(株)池田理化 ・1 百万円	【C-4】 ・復旧作業員等の健康影響調査関連システム用ラックの導入 ・住友電設(株) ・1 百万円	【C-5】 ・M-FISHブロープの購入(株)池田理化 ・1 百万円	【C-6】 ・放射線医学総合研究所重粒子治療推進棟 ネットワークサーバー室電源増設工事 ・(株)後藤電設 ・1 百万円	【C-7】 ・検体・試薬保存容器の購入 ・(株)池田理化 ・1 百万円	【C-8】 ・緊急作業員および復旧作業員等の人数把握のための調査 ・日本エヌ・ユー・エス(株) ・1 百万円	【C-9】 ・尿自動分析装置の購入 ・(株)池田理化 ・1 百万円	【C-10】 ・核酸分析機器の購入 ・(株)池田理化 ・1 百万円
事業概要 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員の低線量放射線の健康影響管理をフォローアップするためのシステムを構築する。	事業概要 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員を対象に行った、線量評価結果、健康診断結果等の異なるデータベースを統合する情報抽出装置を購入する。	事業概要 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員で被ばくした可能性のある作業員の検体(染色体)を保存する機器を購入する。	事業概要 東京電力福島第一原子力発電所における復旧作業員等の健康影響調査のために導入するシステムサーバ用ラックを購入する。	事業概要 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員の検体の染色体異常検査(受入患者の線量評価、経過モニタリング)に使用するmFISHブロープを購入する。	事業概要 東京電力福島第一原子力発電所の事故における復旧作業員等の健康影響調査のためにシステムを構築、そのシステム用のネットワークサーバー増設等に伴い、サーバー電源用分電盤及び商用、仮設電源の切換盤を増設する。	事業概要 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員で被ばくした可能性のある作業員の検体(細胞)を保存する機器を購入する。	事業概要 東京電力福島第一原子力発電所の事故後、福島第一原発敷地内及び警戒区域等において同事故に伴う緊急作業や復旧作業等に従事した作業員の人数を把握するための調査を行う。	事業概要 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員の尿検査を行うための尿自動分析装置を購入する。	事業概要 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員で被ばくした可能性のある血液検体の核酸分析、染色体やゲノムの異常を検査する機器を購入する。

【D】福島県民等とのリスクコミュニケーション

56百万円

随意契約	一般競争	一般競争	随意契約	随意契約	随意契約	随意契約	随意契約	随意契約	随意契約
【D-1】 ・放射線影響に関する知識・教養の向上のためのビデオ映像の制作 ・(株)日庄 ・29 百万円	【D-2】 ・「一般被ばく相談電話問合わせ」の電子データベースへの移行および分類 ・日本エヌ・ユー・エス(株) ・6 百万円	【D-3】 ・平成23年3月11日以降の原発関連の主な社会的事象の抽出・整理 ・(株)ノルド ・2 百万円	【D-4】 ・シンチレーションセンサーベイメーターの購入 ・(株)千代田テクノル ・2 百万円	【D-5】 ・ガイドブックの作製 ・(株)集賢舎 ・0.5 百万円	【D-6】 ・ワイヤレスポータブルランプの購入 ・(株)橘 ・0.4 百万円	【D-7】 ・放射線スケール図クリアファイルおよび下敷の作成 ・(株)集賢舎 ・0.4 百万円	【D-8】 ・放射線測定器運搬用ケースの購入 ・(株)千代田テクノル ・0.1 百万円	【D-9】 ・PCの購入 ・(株)リミットマックス ・0.1 百万円	【D-10】 ・USBメモリーの購入 ・(株)ベスト電器 ・0.04 百万円
事業概要 福島県民をはじめ、広く国民を対象にし、放射線に関する知識を得ることにより放射線影響への不安解消を目的としたビデオを制作する。	事業概要 原子炉事故による放射線影響等に関するリスクコミュニケーションの実施効果解析のために行っている「一般向け被ばく電話相談」の質問の傾向分析に向けて、電話相談開始時からの質問票を、分析に適した電子媒体に入力し分類を行う。	事業概要 原子炉事故による放射線影響等に関するリスクコミュニケーションの実施効果解析のために行っている「一般向け被ばく電話相談」の質問の傾向分析に向けて平成23年3月11日以降の原発関連の主な社会的事象の抽出・整理を行い、分析のための基礎資料とする。	事業概要 原発事故関連によって放射線・放射能に対し人々の関心や不安に対応する放射線のリスクコミュニケーション(講演、研修、デモンストレーション等)を行うための測定器を購入する。	事業概要 福島県民等に放射線に関する正確な知識を伝えるためのガイドブックを作製する。	事業概要 福島県民に放射線等に関する講演に使用するワイヤレスポータブルランプを購入する。	事業概要 福島県民を対象とした放射線に関する講習会等に配布する放射線スケール図のクリアファイル等を購入する。	事業概要 福島県民への講習会に使用するサーベイメータを運搬する際に使用するケースを購入する。。	事業概要 事業遂行に必要なPCを購入する。	事業概要 当事業遂行に必要な消耗品(USBメモリー)を購入する。

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごと に最大の金額が支出され ている者について記載す る。費目と使途の双方で 実情が分かるように記 載)	A.放射線医学総合研究所					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	緊急被ばく医療設備の強化	74			
	事業費	復旧作業員等の被ばくと健康の関連解析・評価体制の整備	128			
	事業費	福島県民等とのリスクコミュニケーション	56			
	計		258	計		0
	B.緊急被ばく医療設備の強化					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	マイクロ波試料前処理装置、低レベル汚染物測定用γ線測定装置等の購入	74			
	計		74	計		0
	C.復旧作業員等の被ばくと健康の関連解析・評価体制の整備					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	復旧作業員などのフォローアップシステム等の整備	128			
	計		128	計		0
	D.福島県民等とのリスクコミュニケーション					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	放射線影響に関する知識・教養の向上のためのビデオ映像の制作等	56			
	計		56	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

B-1.(株)池田理化			B-6.キャンベラジャパン(株)		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	マイクロ波試料前処理装置	14	事業費	汚染管理用γ線測定装置の購入	4
計		14	計		4
B-2.キャンベラジャパン(株)			B-7.(株)フルヤ金属		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	低レベル汚染物測定用γ線測定装置の購入	11	事業費	バイオアッセイ器具の購入	3
計		11	計		3
B-3.セイコー・イージーアンドジー(株)			B-8.(株)池田理化		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	肺モニタ用計測システムの購入	6	事業費	低倍率蛍光顕微鏡及び顕微鏡用デジタルカメラの購入	3
計		6	計		3
B-4.仁木工芸(株)			B-9.(株)マスダ		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	高エネルギーβ線用体表面汚染モニターの購入	6	事業費	トリアージ室用パーティションの購入及び設置	2
計		6	計		2
B-5.(株)池田理化			B-10.(株)MMコーポレーション		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	マイクロ波高温灰化装置2式の購入	4	事業費	診察台の購入	1
計		4	計		1

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

C-1.ネットワンシステムズ(株)			C-6.(株)後藤電設		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	復旧作業員などのフォローアップシステムの整備	81	事業費	放射線医学総合研究所 重粒子治療推進棟 ネットワークサーバー室電源増設工事	1
計		81	計		1
C-2.日本コムシス(株)			C-7.(株)池田理化		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	異なるデータベースを統合した情報検索・抽出装置	4	事業費	検体・試薬保存容器の購入	1
計		4	計		1
C-3.(株)池田理化			C-8.日本エヌ・ユー・エス(株)		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	検体保存用機器(超低温槽一式の購入)	1	事業費	緊急作業員および復旧作業員等の人数把握のための調査	1
計		1	計		1
C-4.住友電設(株)			C-9.(株)池田理化		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	復旧作業員等の健康影響調査関連システム用ラックの導入	1	事業費	尿自動分析装置の購入	1
計		1	計		1
C-5.(株)池田理化			C-10.(株)池田理化		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	M-FISHプローブの購入	1	事業費	核酸分析機器の購入	1
計		1	計		1

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	D-1.(株)日庄			D-6.(株)橘千葉支店		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	放射線影響に関する知識・教養の向上のため のビデオ映像の制作	29	事業費	ワイヤレスポータブルアンプの購入	0.4
	計		29	計		0.4
	D-2.日本エヌ・ユー・エス(株)			D-7.(株)集賛舎		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	「一般被ばく相談電話問い合わせ票」の電子的 データベースへの移行および分類	6	事業費	放射線スケール図クリアファイルおよび下敷の 作成	0.4
	計		6	計		0.4
	D-3.(株)ノルド			D-8.(株)千代田テクノル		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	平成23年3月11日以降の原発関連の主な 社会的事象の抽出・整理	2	事業費	放射線測定器運搬用ケースの購入	0.1
	計		2	計		0.1
	D-4.(株)千代田テクノル			D-9.(株)リミットマックス		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	シンチレーションサーバイメーターの購入	2	事業費	PCの購入	0.1
	計		2	計		0.1
	D-5.(株)集賛舎			D-10.(株)ベスト電器		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	ガイドブックの作製	0.5	事業費	USBメモリーの購入	0.04
	計		0.5	計		0.04

支出先上位10者リスト

A. 独立行政法人放射線医学総合研究所

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)放射線医学総合研究所	緊急被ばく医療設備の強化等の実施	258	—	—

B. 緊急被ばく医療設備の強化等

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)池田理化	原子炉等の事故によるアクチニド汚染患者が発生した場合に、患者から採取したアクチニド汚染生体試料を用いた汚染・被ばく評価に使用する前処理(特に便等の酸分解に用いる)に必要な装置を購入する。	14	1	100
2	キャンベラジャパン(株)	被ばく医療患者の受入時及び被ばく医療研究において、試料から放出されるγ線エネルギーごとに分析し、放射性物質の核種と量を測定するための装置を購入する。	11	3	71.98
3	セイコー・イージーアンドジー(株)	原子炉事故等によってPuを吸入した可能性のある被ばく患者の受入の際に、肺に付着したPuを体外から評価することが可能な肺モニタのうち、より高濃度にPuを計測するための計測システムを購入する。	6	1	95.24
4	仁木工芸(株)	汚染事故発生時に迅速に救護所、避難所にて傷病者の体表面汚染を計測し、トリージをスムーズに行うための可搬型体表面汚染モニター(γ線環境下で高エネルギーβ線に対して感度がある)を購入する。	6	1	99.83
5	(株)池田理化	原子炉等の事故によるアクチニド汚染患者が発生した場合に、患者から採取したアクチニド汚染生体試料を用いた汚染・被ばく評価に使用する前処理(灰化)に必要な装置を購入する。	4	1	100
6	キャンベラジャパン(株)	被ばく医療患者の受入及び被ばく医療研究において、汚染検査を行う際に可能性のある周辺汚染物から放出されるγ線をエネルギーごとに分析し、放射性物質の核種と量を測定する装置を購入する。	4	2	63.69
7	(株)フルヤ金属	被ばく医療患者の受入及び被ばく医療研究において、アクチニドに汚染した組織及び生体試料を分析するために用いるバイオアッセイ用器具を購入する。	3	5	87.18
8	(株)池田理化	被ばく医療患者の受入及び被ばく医療研究において、アクチニドに汚染した生体試料中のアクチニド結晶の沈着を組織レベルで確認するための低倍率蛍光顕微鏡及び顕微鏡用デジタルカメラを購入する。	3	4	99.48
9	(株)マスタ	汚染事故発生時に迅速に救護所、避難所にて傷病者の体表面汚染を測定し、トリージをスムーズに行うためのトリージ室の運用性を向上させるために、パーティションを購入し、設置する。	2	3	95.66
10	(株)MMコーポレーション	被ばく医療患者の受入の際に使用する診察台を購入する。	1	随意契約	—

C. 復旧作業員等の被ばくと健康の関連解析・評価体制の整備

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ネットワンシステムズ(株)	東電福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員の低線量放射線の健康影響管理をフォローアップするためのシステムを構築する。	81	3	90.08
2	日本コムシス(株)	東電福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業等に携わった方を対象に行った、線量評価結果、健康診断結果等の異なるデータベースを統合する情報抽出装置を購入する。	4	2	97.44
3	(株)池田理化	東電福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員で被ばくした可能性のある作業員の検体(染色体)を保存する機器を購入する。	1	随意契約	—
4	住友電設(株)	東電福島第一原子力発電所における復旧作業員等の健康影響調査のために導入するシステムサーバ用のラックを購入する。	1	随意契約	—
5	(株)池田理化	東電福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員の検体の染色体異常検査(受入患者の線量評価、経過モニタリング)に使用するmFISHフロブを購入する。	1	随意契約	—
6	(株)後藤電設	東電福島第一原子力発電所事故における復旧作業員等の健康影響調査のためにシステムを構築、そのシステム用のネットワークサーバー増設等に伴い、サーバー電源用分電盤及び商用、仮設電源の切換えを増設する。	1	随意契約	—
7	(株)池田理化	東電福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員で被ばくした可能性のある作業員の検体(細胞)を保存する機器を購入する。	1	随意契約	—
8	日本エヌ・ユー・エス(株)	東電福島第一原子力発電所事故後、福島第一原発敷地内及び警戒区域等において同事故に伴う緊急作業や復旧作業等に従事した作業者の人数を把握するための調査を行う。	1	随意契約	—
9	(株)池田理化	東電福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員の尿検査用を行うための尿自動分析装置を購入する。	1	随意契約	—
10	(株)池田理化	東電福島第一原子力発電所の事故に伴う復旧作業に携わった作業員で被ばくした可能性のある血液検体の核酸分析、染色体やゲノムの異常を検査する機器を購入する。	1	随意契約	—

D. 福島県民等とのリスクコミュニケーション

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日庄	福島県民をはじめ、広く国民を対象にし、放射線に関する知識得ることにより放射線影響への不安解消を目的としたビデオを制作する。	29	8	—
2	日本エヌ・ユー・エス(株)	原子炉事故による放射線影響等に関するリスクコミュニケーションの実施効果解析のために行っている「一般向け被ばく電話相談」の質問の傾向分析に向けて、電話相談開始時からの質問票を、分析に適した電子媒体に入力し分類を行う。	6	2	98.44
3	(株)ノルド	原子炉事故による放射線影響等に関するリスクコミュニケーションの実施効果解析のために行っている「一般向け被ばく電話相談」の質問の傾向分析に向けて平成23年3月11日以降の原発関連の主な社会的事象の抽出・整理を行い、分析のための基礎資料とする。	2	2	86.51
4	(株)千代田テクノル	原発事故関連によって放射線・放射能に対し人々の関心や不安に対応刷る放射線のリスクコミュニケーション(講演、研修、デモンストレーション等)を行うための測定器を購入する。	2	随意契約	—
5	(株)集賛舎	福島県民等に放射線に関する正確な知識を伝えるためのガイドブックを作製する。	0.5	随意契約	—
6	(株)橘	福島県民に放射線等に関する講演に使用するワイヤレスポータブルアンプを購入する。	0.4	随意契約	—
7	(株)集賛舎	福島県民を対象とした放射線に関する講習会等に配布する放射線スケール図の入ったクリアファイル等を購入する。	0.4	随意契約	—
8	(株)千代田テクノル	福島県民への講習会に使用するサーベイメータを運搬する際に使用するケースを購入する。	0.1	随意契約	—
9	(株)リミットマックス	当事業遂行に必要な備品(PC)を購入する。	0.1	随意契約	—
10	(株)ベスト電器	当事業遂行に必要な消耗品(USBメモリー)を購入する。	0.04	随意契約	—